

**(別紙) 第2回 あつぎ気候市民会議**  
**グループワーク1の質疑応答の概要 (発言順)**

グループ	レクチャー	質問	回答
A	2 前場氏	①なぜ施設等をバス路線沿いにゆるやかに作らないといけないのか ②本厚木駅を中心としてバスは放射線状に伸びているが、なぜ横の動きができていないのか	①明治時代から街道筋が栄え、戦後は本厚木駅を中心にした都市構造が出来上がり、街道沿いが住まいに適したエリアとなった。(駅から郊外へのバスが空となる) 通常のベッドタウンと違い、往復とも乗車がある双方向のバスなので、バス路線の維持が持続可能なまちづくりにつながる。このため、バス路線沿いに住宅や生活利便施設を誘導していく。 ②都市構造的に放射状の道路づくりを優先してきた。今後環状系を作っていけば横方向の移動もしやすくなる。環状系の移動量自体が少ない傾向もありバス路線が発展していないという現状だが、移動しやすくするのは市としての課題の一つと考えている。
B	2 前場氏	①バスは現状は運行間隔や所要時間などの面で課題があり、利用者が増えないのではないのか。バス以外の交通形態を考える可能性はあるか。 ②バス停を快適にするスタイルの案はあるか ③(①への回答を受けて) 今は1時間に1本のところもある。市として把握しているか疑問。	①一日30本以上あるバス停の割合は85.1%。これはおおむね30分に1本となる。ピーク時には15分に1本にするなどが理想だが、30分に1本あればだいたい目的地に着ける状況はできている。何回か使って慣れていただく必要もあると思っている。 バス以外については、鉄道やモノレールなど軌道系交通システムは市の人口規模的に採算が取れない。バスに関しては、(輸送量の大きい) 接続バス、バスを早く到着させるための信号システム(PTPS: 公共車両優先システム)、バス専用レーンなどを導入している場所もある。 ②バス停に上屋を作るための事業者向け補助金(厚木市バス利用環境改善事業補助金)がある。また、市でも、年間2か所作っていく。現在は市内の約300か所のうち半分くらいに付いており、これを増やしていく。 ③確かに少ないところもあり、バス事業者には言っているが、需要に応じてダイヤを組んでいるのでご理解いただきたい。

F	3 山崎氏	ロードマップに関し、再エネ導入も省エネ推進も廃棄物が出ると思うが、対策を教えてください。	<p>太陽光パネルの廃棄に当たってどのように処理するべきかは国が検討中で、できるだけリサイクルする動きである。</p> <p>導入時期により大量廃棄の懸念もあるが、パネルは基本的に30年稼働とされているので、その期間で廃棄施設の導入やリサイクル検討を進めることが求められている。</p> <p>パネルは産業廃棄物なのでロードマップ内の一般廃棄物とは別となるが、ここでもCO<sub>2</sub>を出さない工夫が必要と考えている。</p> <p><b>【渡部氏から補足】</b></p> <p>パネルを屋根に付けている土台や金具、変換機は15年程度で交換が必要と言われている。パネル設置に当たってはその説明をきちんとしてくれる業者を選んでほしい。</p>
H	3 山崎氏	<p>再生可能エネルギーの購入に関して、現在は安定供給できているのか。費用面はどうか。</p> <p>(※質問者は新電力を契約したが会社が潰れてしまったという体験をした)</p>	<p>新電力会社が潰れても電気が止まることはなく、システムは出来上がっているので安心して契約してほしい。ただ、現在は新電力の経営が厳しい状況になっているので、どのような電力会社から購入するかはよく検討してほしい。</p> <p>価格に関しては、今は電力市場全体が高騰している。常に変動しているが、一般的に再エネは高いとされている。</p> <p>再エネを安く供給させるためには、太陽光パネルや風力発電機器等の設置コストを下げる必要がある。そのためには需要が増えればよく、国や自治体が補助金を出して設置を促進している。皆が付ければ市場価格が下がり再エネコストも下がる。今後再エネが安い世の中にしていくために世の中が動いている状況である。</p>
D	3 山崎氏	太陽光発電のデメリットを知りたい。発電効率を下げる因子が複数あると思うが、それらを含めても全体的に見ればメリットが大きいのか。	<p>太陽光発電よりもよい再エネがあればよいが、今のところ厚木市の導入ポテンシャルは太陽光しかない状況である。太陽光パネルを付ければ電気によるCO<sub>2</sub>排出を減らせるというメッセージを発信していく。</p> <p>例えばパネルに部分的に影ができて別区画で発電できる技術など、発展は続いていくと思われる。デメリット克服のための技術開発を進めていく動きが必要になってくる。</p>

C	2 前場氏	<p>①資料の中で「1日10分車を控えるとCO<sub>2</sub>排出を588kg減らせる」とされた算定根拠を知りたい</p> <p>②車の利用を減らすことによるトータルの効果をどう見ているのか</p> <p>(回答を受けて) 各施策がどのくらい効果があるのか定められて進めるのがよいと思う。</p>	<p>①テレビや冷蔵庫と比較して効果があると例示したもの。環境省のデータを基に東京工業大学が算出したもので詳細は把握していない。</p> <p>②コンパクト・プラス・ネットワークの目標は「持続可能なまち」を作ることがメインで、「車に全く乗らなくても暮らせるまち」ということ(と同義)でもない。ポイントは郊外部でも歩いて暮らせる、バス路線を維持することでまちが維持できるなど、まち全体が持続可能となること。どちらかというともまちづくり・ハード整備をポイントにしており、その結果色々な効果がある中で環境面にもやさしいという効果があると思うものである。</p>
I	3 山崎氏	<p>①住宅の太陽光パネル設置について、興味がない人へのPRの状況</p> <p>②市から企業に対して設置するようアピールしているのか</p>	<p>①補助金の広報はしている。新築する人は付けることを考える機会が多いが、既存の家だと屋根の葺き替えなどがない限りあまりタイミングがない。このため、ハウスメーカーと組んで、家屋の10年点検のタイミングなどでPRすることを構想中である。</p> <p>②PPA(Power Purchase Agreement:電力販売契約)という仕組みがあり、企業は第三者が(その企業の屋根等に)設置した発電設備で作られた電気を購入する。これだと初期費用の必要がない。厚木市の事業所向け補助金(自家消費型太陽光発電等導入費補助金)ではPPAも対象としており、「初期費用なく付けてみませんか」というメッセージは発信しているので、今後広げていきたい。</p>
G	2 前場氏	<p>バスの運賃が高い。若い世代は免許を取ってバイクや車に乗ってしまう。</p> <p>電動自転車の補助金や、現役世代のバス料金も安くするなどのサービスがあるとよいのではないか。</p>	<p>バスの運賃は7月から値上げしたが、バス事業者としては運転士不足解消のための待遇改善や燃料費高騰などもありご理解いただきたいとしている。</p> <p>通学定期に関しては実質的な値上げ幅は小さかったが、通勤についても(勤務先の補助はあるとしても)研究が必要と感じている。</p> <p>車を買うことについては、諸経費が月2・3万円かかることとバス代を比較するとどうか。車を持つ生活からの脱却は難しいと思うが、車を持つことのコスト感をどこかで考えてもらうことも必要ではないかと思う。</p>

E	3 山崎氏	ごみ回収について、家庭ごみの戸別回収となったが減少効果はあったか	他部署（環境事業課）の担当事業なので細かいデータは今持っていないが、現在対象地区を広げて戸別回収世帯数を増やしている。先行地区の実績を見るとごみの量は減っている。開始時は減らす努力をするが慣れてくると増える傾向になるとのことだが、基本的には一定程度減量効果はある。
---	----------	----------------------------------	--

- ・グループとして質問した以外の個別の質問（各自が付箋に書いたもの）に関しては、実行委員会がとりまとめ、専門家からの回答を得て、第3回市民会議の開催に先立ち参加者にフィードバックする予定である。